



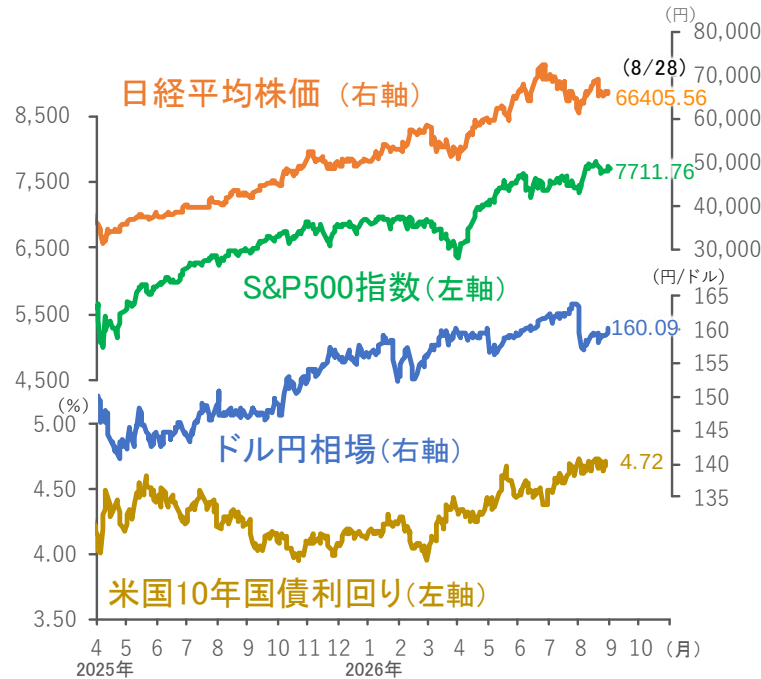
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.8.31

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、ウォーシュFRB議長が週末のジャクソンホール講演でインフレ抑制に向けた強い意志を示したことから、9月利上げ観測が強まり、金曜日の主要国株式・債券はともに下落しました。週間では、原油価格下落を好感した買いやAI・半導体大手エヌビディア社の好決算を受け、主要国の株式は上昇、債券は高安まちまちでした。S&P500指数は週間で+0.5%、ナスダック総合は同+0.8%、独DAX指数は同+1.7%、日経平均株価は同+0.6%で終わりました。10年国債利回りは米国が前週末比▲2bpの4.72%、独は+2bpの3.28%、日本は+4bpの2.93%で引けました。ドル円は、7月末の日米協調介入以来はじめて、160円台まで円安・ドル高が進みました。

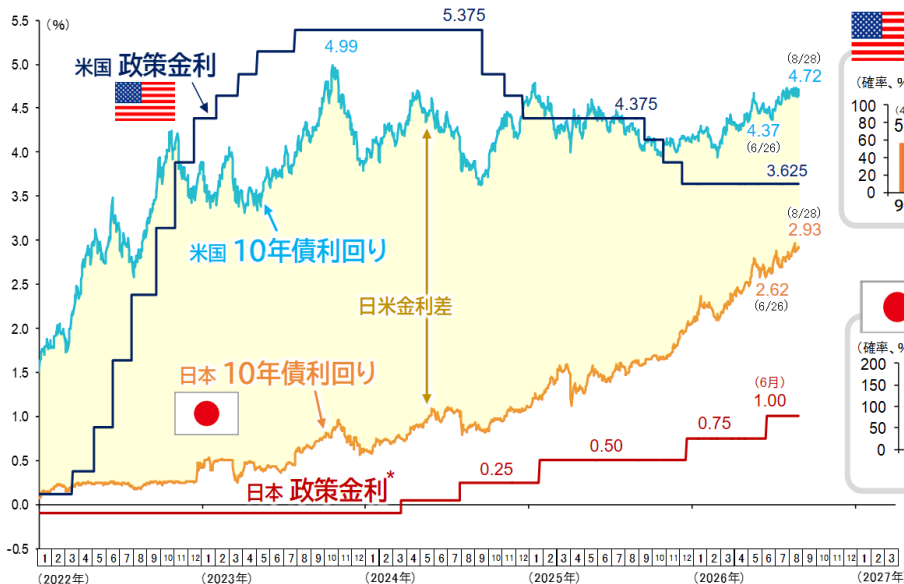
今週は、米8月ISM、雇用統計など重要経済指標の発表が相次ぎ、注目されます。為替市場では、7月末の為替介入前の水準まで円安・ドル高が進んでおり、日米当局が為替介入に動くか注目されます。

当面の注目イベント

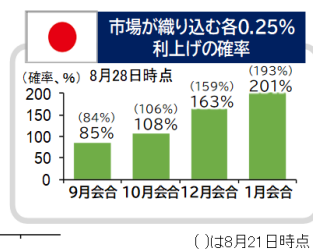
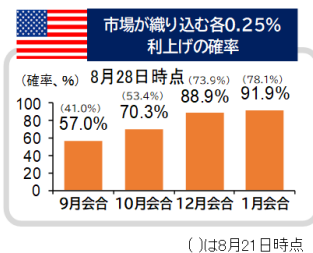
- ★中・8月製造業PMI (1日)
- ★米・8月ISM製造業新規受注DI (1日)
- ◆米・7月JOLTS(求件数) (1日)
- ◆米・8月ISM非製造業景況指数 (3日)
- ◆8月グローバル総合PMI (3日)
- ◆米・8月雇用統計 (4日)

★：りそな景気先行指数関連指標

先物市場が織り込む9月FOMCで0.25%の利上げが決定される確率は57%と前週から約20pt上昇しました。短期金融市場が織り込む9月会合で日銀が追加利上げに踏み切る確率は前週末とほぼ変わらずの85%です



* 日本の政策金利：2024年3月19日までは日銀当座預金金利、2024年3月21日以降は無担保コール翌日物金利



【出所】ブルームバーグ、CMEグループ、東京短資の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

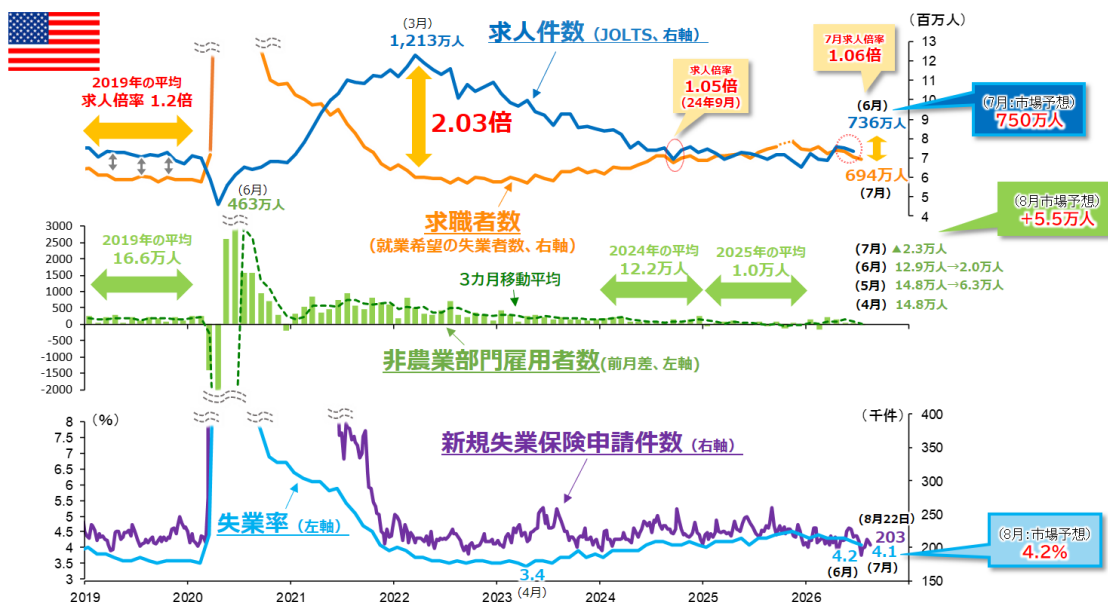
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

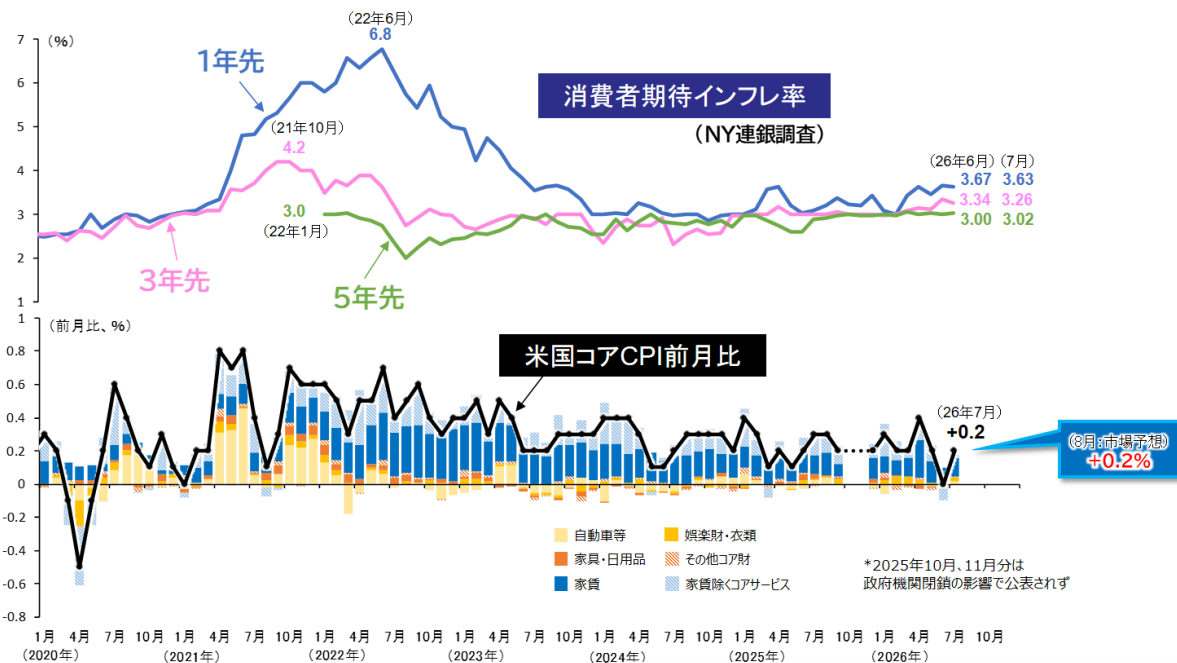
RESONA

ウォーシュ議長は先週の講演で“労働市場は安定している”と楽観的な見方を示しましたが、仮に8月非農業部門雇用者数が2ヵ月連続減少となった場合、9月FOMCの利上げは見送られる公算が高いとみられます



【出所】 Haver Analytics、ブルームバーグ、BLSの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週のジャクソンホール講演で、ウォーシュ議長は“中長期の期待インフレ率は概ね安定している”と評価する一方、“最近発表されたCPIは事前予想に比べ良好だったものの、改善は十分ではない”と指摘しました



【出所】 Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年9月7日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。